

「板橋区立中学校部活動地域移行実施計画 2028」(素案) に対する
パブリックコメントと板橋区教育委員会の考え方

◎ 募集期間：令和7年11月7日(金)～11月28日(金)【22日間】

◎ 件数：10件／6人(We b提出6人)※氏名など必要事項未記載の方2名を除いています。

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
1	第1章 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画 2028の策定にあたって	地域移行は先生の負担軽減以外にメリットはなく、代償として子どもの体験の機会が下がることを心配する保護者が一部いると思いますが、学校教育と部活動を切り離して議論しないと両者が満足する結論は出ないと思います。教員の働き方改革を推し進めるなら、大きな変化は仕方ないと思います。	板橋区では、生徒の成長機会の確保、教育の質の向上、生涯スポーツ社会・生涯学習社会の進展を目的として、区立中学校部活動の地域移行を推進しています。 部活動指導が教員にとって過大な心身と業務への負担となっていることもありますが、学校部活動が持続可能性の面で厳しさを増している状況にあることから、この取組を一層推進していく必要があると考えています。
2	第1章 板橋区立中学校部活動地域移行実施計画 2028の策定にあたって	ひとつの種目につき、活動場所は区内複数箇所で設定出来るよう目指して欲しい。区の端の方や区境地域に居住の中学生は、希望の活動があっても、現実的に区を縦断して通うことは出来ず、距離を理由に断念することになる。中学生が放課後に自分で通え、日没後の時間でも安全に帰宅出来る範囲で活動が出来なければ意味がない。2～3校の学区域に一つずつくらいの範囲で、複数活動の選択肢が取れるよう、活動団体や活動場所の設定を目指して欲しい。	部活動改革において、中学生の活動時間・活動範囲を考慮した種目ごとの場所の確保等については、区が部活動改革の目的とする「生徒の成長機会の確保」において重要な要素と認識しております。 行政が運営団体となるいたばし地域クラブへ部活動を地域移行する際には、活動場所の確保や移動距離などを考慮し、中学生が参加しやすいクラブ活動となるよう、検討してまいります。
3	第3章 重点戦略と取組	部活動の地域移行は、限られたスポーツのみに限定し、あとは各家庭の判断に委ね、どうしても習いたいことがあれば民間企業に月謝を支払って通えば良いと思います。	本計画において、いたばし地域クラブにおける新たな個別クラブの設置については、中学生の活動機会の確保と教員の負担軽減の両立を図るため、設置校数・部員数ともに多い運動部から優先的に地域クラブへの移行を検討してまいります。

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
4	その他	<p>令和8年度、息子が中学校に進学します。</p> <p>今までサッカーをクラブチームでやっていましたが、進学する中学校にはサッカー部がありません。隣の中学校のサッカー部に入部できるようになったら良いなと思っておりました。</p>	<p>現行の学校部活動は、学校単位で実施されており、参加できる部活動が在籍する中学校に設置されている種目・分野に限られてしまい、希望する種目・分野に参加できないといった課題があります。</p> <p>行政が運営団体となるいたばし地域クラブへ部活動を地域移行する際に、在籍校を会場とするクラブがない場合は、近隣校を会場とするクラブへ入会できるように調整するなど、生徒の活動機会の確保に取り組んでいます。</p>
5	その他	<p>我が子の地域では、バドミントン部が廃部になっています。そして、他の中学校に参加することも出来ず他の競技にするしか出来ません。</p> <p>廃部等にするなら、他の中学校の部活動に参加することも許可できるように連携整備することも地域移行に必要なことなのではないかと思えます。ご検討よろしく願いいたします。</p> <p>また、空いている小学校や廃校の小学校体育館を使って部活動を作る必要があると思えます。</p>	<p>現行の学校部活動は、学校単位で実施されており、参加できる部活動が在籍する中学校に設置されている種目・分野に限られてしまい、希望する種目・分野に参加できないといった課題があります。</p> <p>行政が運営団体となるいたばし地域クラブへ部活動を地域移行する際に、在籍校を会場とするクラブがない場合は、近隣校を会場とするクラブへ入会できるように調整するなど、生徒の活動機会の確保に取り組んでいます。</p> <p>また、空いている小学校の体育館等の活用については、既に学校施設開放事業を中心に様々な事業で利用されていることや生徒の移動の負担などもあることから、学校部活動をいたばし地域クラブへ移行する際には、これまで学校部活動で利用していた中学校の施設を有効活用していくことが重要だと考えています。</p>

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
6	その他	英語ネイティブの先生が常在する英語クラブを地域クラブとして発足してほしいです。この国際化、多様化の時代に英語を話して活動する場を通して国際的な視点を養い、海外から来た人との絆を深め一体感を持って地域での活動を盛り上げていくきっかけになるのではと思います。	本計画において、いたばし地域クラブにおける新たな個別クラブの設置にあたっては、中学生の活動機会の確保と教員の負担軽減の両立を図るため、設置校数・部員数ともに多い運動部から優先的に地域クラブへの移行を検討してまいります。
7	その他	子どもの運動機会を維持する案として、区民スポーツセンターの利用促進も良いと思います。	区立体育施設を利用することは、中学生の運動機会の確保をする観点からも有効な手段の一つであると考えています。 一方で、いたばし地域クラブ以外の団体による利用もあることや生徒の移動の負担が増えることなどの課題もあります。 そのため、学校部活動をいたばし地域クラブへ移行する際には、これまで学校部活動で利用していた中学校の施設を有効活用していくことが重要だと考えています。
8	その他	野球など、いたばし地域クラブが活動する際に、複数校の生徒や小学校の高学年などを受け入れてはどうでしょうか。	いたばし地域クラブ（野球クラブ）における複数校の生徒の参加については、生徒の活動機会が確保されるよう、適切な運用に努めております。 また、既存の学校部活動からいたばし地域クラブに移行する際に、在籍校を会場とするクラブがない場合は、近隣校を会場とするクラブへ入会できるように調整するなど、生徒の活動機会の確保に取り組んでいます。 部活動改革により最も影響を受ける中学生の活動機会の確保を優先的に図るため、小学校高学年の児童の参加はできないこととしております。

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
9	その他	<p>各学校の部活動ではなく地域クラブとして活動し、あくまで活動の場所として学校内を借りるかたちではダメなのですか。</p> <p>地域の野球クラブやサッカーチームなんかは今までもそのかたちで、それとは別に部活があった訳ですが、そこまで部活動にこだわる理由は为什么呢。</p> <p>外部に委託、地域の協力を得ての段階において、学校内で成立しないのですから、学内にこだわらず門を広げれば良いのではと思います。</p>	<p>板橋区では、生徒の成長機会の確保、教育の質の向上、生涯スポーツ社会・生涯学習社会の進展を目的とし、区立中学校部活動の地域移行を推進しています。</p> <p>特に、設置校数・部員数ともに多い運動部を地域クラブに移行する際、生徒の活動場所・活動範囲を勘案する必要があります。そのため、学校部活動をいたばし地域クラブへ移行する際には、これまで学校部活動で利用していた中学校の施設を有効活用していくことが重要だと考えています。</p>
10	その他	<p>国や東京都の働きかけで進めている以上、近隣区でも同じような方向性になっているはずなので、近隣区の地域活動とも連携し、区境の中学生は近隣区の地域活動にも参加出来るよう、相互間で調整することも検討して欲しい。</p>	<p>国・東京都は部活動及び地域クラブに係るガイドラインを策定しており、部活動改革の具体的な取組は、各自治体が主体となるものとされています。</p> <p>板橋区では、他自治体に先駆け、令和7年度に、既存の部活動である野球部を、全区立中学校同時に、行政主体の地域クラブであるいたばし地域クラブに地域移行するなど、積極的に部活動改革に取り組んでいます。</p> <p>いただきましたご意見も参考としつつ、板橋区の中学生が参加しやすいクラブ活動となるよう、国や東京都の動向を注視してまいります。</p>